

編 輯 後 記

○感々満洲土木學會の機關誌として「土木滿洲」が茲に  
呱呱の聲をあけるに至つたことは誠に同慶に堪えない。  
本誌は當初其創刊號として名實共に充實したものにした  
いとの意向であつたが學會創立日尙淺く萬事に不馴れの  
爲開會式當日の記念講演記録を中心として二三の篤志家  
の寄稿を収録することにして取敢ず實をふさぐことにし  
た。

○然し平山副會長より滿鐵理事としての極めて多忙の  
身邊に拘らず貴重な玉稿をいただいたことは感謝に堪え  
ない。

平山副會長の玉稿に依つても明かな如く滿洲土木學會  
の今後の針路並に機關誌「土木滿洲」の持つ使命は自ら獨  
自なものを必要とすることは敢て贅言を要しない従つて  
其編輯にも新機軸を出すべく編輯員一同大いに努力する

覚悟であるが、要は會員諸兄の支援程度の如何が其是非  
を決定する鍵であらうと思ふ。

其意味に於て諸兄の不斷の援助を御願ひして置く。

○本誌の使命を論ずれば色々あらうが大體次の三つに  
要約されるやうである。

1. 滿洲獨特の土木技術研究の發表機關
2. 副會員層の技術智識の向上
3. 會員相互の親睦融和

斯う掲げて見ると本誌の持つ色彩が稍々明瞭になつて  
来る。あとは會員諸兄の意向でどんな風にでも色どられ  
てゆく譯だから學會の機關誌だからと言ふ既成觀念にと  
らはれず何んでも自由に御投稿願ひ度い。

兎に角會員一人残らず本誌に關心を寄せると言ふこと  
が何より大切なことである。 (黒田)

康德8年1月25日印刷 康德8年2月1日發行〔非賣品〕

發行者	新京特別市惠民路第1代用官舎27號	黒田重治
編輯者	新京特別市崇智路政府聚合住宅11號	佐藤九郎
印刷者	新京中央通44番地	和木本久
印刷所	新京中央通44番地	滿洲新聞社印刷所

新京特別市順天大街 交進部道路司内

發行所 社 團 人 滿 洲 土 木 學 會